

【利用規約 ギャンブル依存AIチャットボット相談】

第1条（提供するサービス）

ギャンブル依存症予防回復支援センター（以下、「当センター」という）は、以下のサービスをティーベック株式会社（以下、「委託先」という）に委託し提供します。

1. サービスの内容

以下のサービスを委託先の管理する生成AIによる自動応答プログラム（チャットボット）（以下、「当サービス」という）により提供します。

- （1）ギャンブル依存に関する相談
- （2）利用者の要望に基づいた医療機関情報の提供

2. サービス利用の条件

- （1）サービスの受付時間：24時間無休。ただし、利用者のインターネット環境等の都合により、ご利用いただけない場合があります。
- （2）利用者がチャットボットを使用する際の通信料は利用者負担とします。
- （3）当サービスでは、利用者の個人情報を取得しません。個人情報の入力禁止です。
- （4）国外の相談及び国外からの相談等はお受けできません。又、地域や内容によって利用者の要望に沿えない場合があります。
- （5）利用者の状況又は相談内容により、相談の制限・停止をさせていただく場合があります。
- （6）委託先は、応対品質の向上及び相談・回答内容の検証を目的として、書面又は電子的方法等により記録させていただくことがあります。
- （7）当サービスは利用者に対し、アンケート調査をすることがあります。
- （8）ご相談の中でサポートコールをご案内することがあります。その際、当サービスのご相談内容は、サポートコール窓口の担当には引き継がれませんのであらかじめご了承ください。
- （9）提供する医療機関情報が最新ではない場合があります。
- （10）未成年者が利用する場合は事前に保護者の同意取得が必要です。

第2条（サービス提供の前提）

当サービスは、医療行為及び診察行為を行うものではなく、委託先が管理する生成AIによる自動応答プログラム（以下①）を通じて、ギャンブル障害（ギャンブル依存症）当事者やギャンブル依存に悩む本人、もしくはそのご家族等のニーズに沿った医療健康情報又は受診や治療に関する情報若しくはアドバイス等を提供するものです。加えて、以下のそれぞれにつきご理解いただくことを前提としています。

- ① チャットプラス株式会社（以下、「チャットプラス」）が提供するAIチャットボットサービス「AI Agent Plus（以下、「本プログラム」）」を利用しています。本プログラムで利用する生成AIはチャットプラスの独自モデルならびにOpen AI社等が提供する大規模言語モデル（LLM）を採用しています。本プログラムが回答を生成するにあたり、当センターのホームページのほか、委託先の心理専門職が作成し医師監修を行ったFAQおよび委託先が作成したギャンブル障害（ギャンブル依存症）の専門医療機関リストを参照しています。なお、本プログラムで利用する生成AIは提供元によるバージョンアップデートによりその機能等が更新される場合があります。そのため、当サービスの内容も予告なく変更される場合があります。
- ② 以下については電話（サポートコール）による相談を推奨するため、当サービスの対象外とします。
 - a. 緊急性のある相談
 - b. 継続カウンセリング（予約制）、診療費・利用料負担サービス、司法書士相談サービス（予約制）の手続きに関する相談
- ③ 当サービスにおいて表示され、又は生成AIによる画像・テキストそのほか全てのコンテンツ及び利用者が記入したコンテンツの著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は委託先または委託先に生成AIを提供する第三者に帰属するものとします。
- ④ 利用者は、当サービスにおいて表示されたコンテンツを複製、改変、転用、翻訳、翻案することはできません。
- ⑤ 当サービスにおいて表示された医療機関情報をもとに利用者が受診したとしても、診療費・利用料負担サービスの対象にはなりません。診療費・利用料負担サービスの適用にはサポートコールの利用が必要です。
- ⑥ 当サービスは、機能検証および品質向上を目的としたトライアル（試験提供）として提供しています。当サービスにより提供される情報は、一般的な健康情報または参考情報であり、医学的診断、治療、予防その他の医療行為を目的とするものではありません。利用者は、当サービスの情報のみに基づいて医療上の判断を行わず、必要に応じて医師その他の医療専門職等に相談するものとします。また、当サービスの継続提供、正確性、完全性、有用性について保証するものではありません。
- ⑦ 当サービスを通じて取得した入力内容や利用履歴は、チャットプラスが管理する本プログラムの

クラウドサーバー内に保管されます。それらの情報は、当センターならびに委託先が以下の目的で利用します。

- ・当サービスの適切な運営、維持管理のため
 - ・当サービスの応答精度の向上および品質改善、新機能や新サービス開発のため
 - ・サービス利用状況の把握・分析および統計資料作成のため
 - ・サンプル依存の予防・回復に関する調査研究のため
 - ・当サービスや関連サービスに関するマーケティング活動のため
- ⑧ 当サービスでは利用者の属性情報（年代、性別、居住地等）を取得しますが、上記の目的に限り利用するものであり、当サービスのログデータ等含め取得した情報は個人を特定できない形で管理されます。また、上記目的で利用する場合、法令等に基づく要請に応じる場合、当センターならびに委託先が法令等に基づく義務等を履行する場合その他社会通念上必要である場合を除き、当サービスで取得した情報は外部の第三者へ個別に提供することはありません。

第3条（禁止事項）

利用者は、当サービスの利用にあたり、以下の行為をしないものとします。

- (1) 法令または公序良俗に違反する行為
- (2) 犯罪行為に関連する行為
- (3) 承諾を得ることなく他人の著作物やその複製物を送信する行為、他人のプライバシーや企業秘密に属する事項を送信する行為など、当センターならびに委託先もしくは第三者の著作権、商標権等の知的財産権、財産、プライバシーもしくは肖像権を侵害する行為、又はそのおそれのある行為
- (4) 第三者の人権を侵害する行為ないし公序良俗に反する行為、又はそのおそれのある行為
- (5) 当サービスを通じて、又は当サービスに関連してコンピュータウィルス等、有害なプログラムを使用、又は提供する行為、又はそのおそれのある行為
- (6) 当センターならびに委託先のサーバーまたはネットワークの機能を破壊、妨害、又はそのおそれのある行為
- (7) 当サービスの運営を妨害するおそれのある行為、その他当センターならびに委託先もしくは当サービスの信用を毀損する行為、又はそのおそれのある行為
- (8) 当サービスの他の利用者に関する情報等を収集または蓄積する行為
- (9) 他のユーザーに成りすます行為
- (10) 反社会的勢力等（暴力団、暴力団員、右翼団体、反社会的勢力、その他これに準ずる者を意味します。以下同じ。）の維持、運営若しくは経営に協力若しくは関与する等反社会的勢力等との何らかの交流若しくは関与をする行為
- (11) 当サービスまたはそのコンテンツのソースコードをコピー又は翻訳する行為
- (12) 本規約に抵触する行為
- (13) その他、当センターまたは委託先が不適切と判断する行為

第4条（当サービスの提供の停止等）

1. 当センターまたは委託先は、以下のいずれかの事由があると判断した場合、当サービスの全部または一部の提供を停止または中断することができるものとします。
 - (1) 当サービスにかかるコンピュータシステムの保守点検または更新を行う上でやむを得ないとき
 - (2) 地震、落雷、火災、停電または天災などの不可抗力により、当サービスの提供が困難となった場合
 - (3) 電気通信事業者の都合により当サービス用通信回線の使用が不能なとき
 - (4) 過度なアクセスやリクエストにより、当サービスの安定した提供に支障をきたすと当センターまたは委託先が判断した場合
 - (5) その他、前各号に準ずる事由により、当センターまたは委託先が当サービスの提供が困難と判断した場合
2. 当センターまたは委託先は、前項の規定により当サービスの提供を一時的に停止するときは、あらかじめその旨を利用者に通知するものとします。ただし、当サービスの利用に支障が生じないと当センターまたは委託先が判断する短時間の停止または緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。
3. 当センターまたは委託先は、当サービスの提供の停止または中断により、利用者または第三者が被ったいかなる不利益または損害について、理由を問わず一切の責任を負わないものとします。
4. 当センターまたは委託先は、利用者に対して、当サービスの内容の完全性、正確性について保証をしないものとします。

第5条（当サービスの終了）

1. 当センターは、当センターの裁量により当サービスの提供を利用者への事前の通知または告知を行うことなく恒久的に終了することができるものとします。

2. 当センターは、前項に基づいて当サービスを終了したことにより、利用者または第三者が被ったいかなる不利益または損害について、理由を問わず一切の責任を負わないものとします。

2026年3月1日 施行
2026年4月1日 改訂

〔以下、余白〕